

2021年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
134031108	教育相談(カウンセリングを含む。)	藤田依久子		教職	2	選択	3前期
科目の概要							
近年、日本の教育現場で問題となっているキーワードとして、発達障害、不登校、いじめ、非行、自傷・自殺、虐待といったものがあります。 この科目では、学校現場におけるこれらの問題（特に心理的な問題）に対し、教員がどのように対処すべきか、対処するときに教員が持っているべき知識を解説します。							
学修内容				到達目標			
① 教育相談における基礎知識を理解する。 ② 教育現場にまつわる問題を知る。 ③ 教育学・心理学の知識が教育現場でどのように応用できるかを考察する。				① 教育相談に関する基礎的なことがらを説明することができる。 ② 教育現場における問題点を見出すことができる。 ③ 教育現場において、教育学・心理学の知識を応用できる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	議論やグループワークに積極的に取り組むことができる。					
	働きかけ力						
	実行力	課題を最後までやり遂げることができる。					
考え抜く力	課題発見力	授業や議論の中で出されたテーマについて、自分なりに考えて問題点を発見することができる。					
	計画力						
	創造力	議論やグループワークで、既存の知識にとらわれないユニークな意見を述べることができる。					
チームで働く力	発信力	議論やグループワークにおいて、積極的に発表することができる。					
	傾聴力	授業者や他の受講生の発言を丁寧に聞く。また、その内容を自分に還元することができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	授業でのルールを守る。また、授業者や他の受講生を尊重することができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：特になし 参考文献：授業中に適宜紹介します。 また、授業で資料を配布します。							
他科目との関連、資格との関連							
本学部で取得できる資格との関連：高等学校教諭一種免許状（公民）							
学修上の助言				受講生とのルール			
グループワークやロールプレイには積極的に参加したほうが、得られるものは多いです。 教育現場における現実の問題を扱うための感性を養い、アンテナを立てるつもりで授業に参加してください。				教員になるという強い意思を持ち、他の受講生の迷惑となるような行為（e.g., 私語、居眠り、携帯電話の使用）は避けてください。特に、私語については厳しく対応します。			

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験 筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	50	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談の基礎知識について理解できているか ・それらを身に着け、応用することができるか これらを中心とした問題を出します。		
			②	✓			
			③	✓			
	学修成果	小テスト	0	①			
				②			
				③			
		学修成果	レポート	40	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回講義中に、ミニレポートを課します。 ・書く内容については、講義中に知らせます。
					②	✓	
③					✓		
学修成果			成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	0	①		
					②		
	③						
	学修行動		社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	評価のポイントは以下のとおりです。 （主体性）議論に積極的に取り組んだか （実行力）課題を最後までやり遂げられたか （課題発見力）問題点を発見できたか （創造力）ユニークな意見を述べられたか （発信力）積極的に発表できたか （傾聴力）他者の話を聞き、自分のものとしたか （規律性）授業でのルールを守れたか
					②	✓	
		③			✓		
	総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
A(優)の目安：教育相談の基礎知識について授業で取り上げたものは9割以上理解している。 S(秀)の目安：Aの基準に加えて、学んだ内容から、教育現場における問題を解決する方策をいくつか提案することができる。	教育相談の基礎知識について授業で取り上げたものは7割程度は理解している。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション	講義 グループワーク	授業の進め方、ルールを理解し、説明できる。また、教育相談を学ぶ準備ができている。	予習：シラバスに目を通しておく。 復習：配布資料をしっかりと読む。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	教育相談の位置づけと必要性	講義	教育相談の定義や必要性を説明できる。	予習：教育相談とは何かを調べておく。 復習：配布資料をしっかりと読む。	180	課題発見力 傾聴力 規律性
3	子ども～青年期の精神障害	講義	子どもの精神障害の特徴、摂食障害、アパシーについて説明できる。	予習：摂食障害、アパシーについて調べてくる。 復習：配布資料をしっかりと読む。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
4	青年期～成人期の精神障害	講義	パーソナリティ障害、双極性障害、うつ病、統合失調症などについて説明できる。	予習：青年期以降に多い精神障害について調べてくる。 復習：配布資料をしっかりと読む。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
5	発達障害	講義	発達障害とは何か、発達障害の種類について説明できる。	予習：発達障害について調べてくる。 復習：配布資料をしっかりと読む。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
6	不登校	講義 グループワーク	不登校の実態や原因、タイプについて説明できる。	予習：不登校について調べてくる。 復習：グループワークの感想をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	いじめ	講義 グループワーク	いじめの特徴と、対処策について考えることができる。	予習：現代のいじめの実態や対処法について考えてくる。 復習：グループワークの感想をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	非行	講義 グループワーク	非行の実態、非行に関する相談機関について説明できる。	予習：非行少年の実態について調べてくる。 復習：グループワークの感想をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	自傷・自殺	講義 グループワーク	自傷・自殺企図の区別や、実態について説明できる。	予習：自傷と自殺の違いを調べてくる。 復習：グループワークの感想をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	虐待・保護者	講義 グループワーク	虐待の定義や種類、実態について説明できる。また、保護者への支援のポイントを説明することができる。	予習：虐待の実態について調べてくる。 復習：グループワークの感想をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	教育相談における基本的態度	講義	共感的理解、相談の構造とは何かを説明できる。	予習：ロジャースの「来談者中心療法」について調べてくる。 復習：配布資料をしっかりと読む。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
12	心理支援の方法①	講義	アサーション、行動療法・認知行動療法について説明できる。	予習：アサーション、行動療法・認知行動療法について調べてくる。 復習：配布資料をしっかりと読む。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
13	心理支援の方法②	講義	学内連携、児童相談所・教育相談所・医療機関との連携について説明できる。	予習：他機関との連携について調べてくる。 復習：配布資料をしっかりと読む。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
14	連携と協働	講義	学内連携、児童相談所・教育相談所・医療機関との連携について説明できる。	予習：他機関との連携について調べてくる。 復習：配布資料をしっかりと読む。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
15	まとめ	講義 グループワーク	教育相談全体について説明できる。	予習・復習：これまで学んだ内容を、配布資料をしっかりと読むなどして振り返る。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力